MAN-35B　KZ40　2020年11月16日発行

LIXIL

スタイルシェード【テラス桁付用】　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

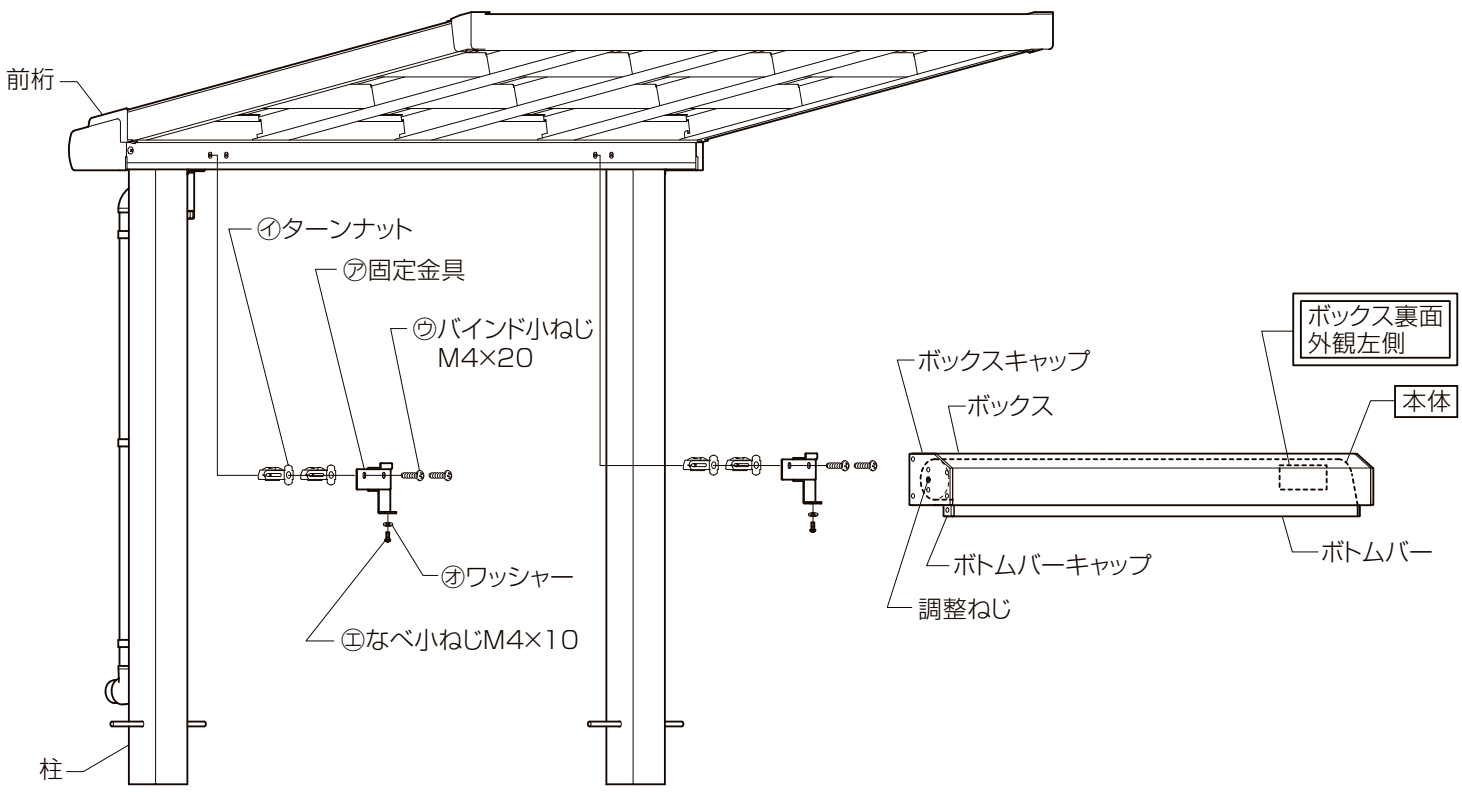
⚠ 注　意

●本製品の落下・転落や、作動不良の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじで取付けてください。
・テラス前桁の下穴は、ねじ外れを防止するため、φ 8.2 のドリルを使用してください。
・固定金具、本体の固定ねじは、2.5 ± 0.5N·m〔2.5 ± 5kgf·cm〕のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。
・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。

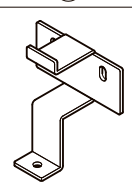
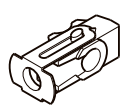
■取付け上のお願い

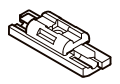
●本製品は、以下のシリーズのテラス屋根に取付け可能です。
製品名：スピーネ、シュエット、テラス VS
●本製品を上記以外の製品に取付けた場合・記載以外の取付け・固定方法をした場合の不具合は、免責とさせていただきます。
●木の葉や細かい小枝がたえず動くような風（風速 5m/s 程度）が吹いているとき、突風が予測されるときは、シェードを巻き上げてください。あおられて製品が破損するおそれがあります。
●生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気をつけてください。
●本体は水平に取付けてください。水平が出ていないと、生地の巻乱れが生じ、生地の消耗につながります。
●テラス屋根に雪が積っている状態で生地を引き出さないでください。生地の巻き乱れが生じ、生地の消耗につながります。
●外観左側のボックスキャップ中央にシェード巻取りスピードの「調整ねじ」があります。取付けする際は、ボックス本体を固定する前に巻取りスピードを調整してください。

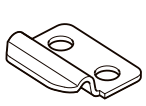
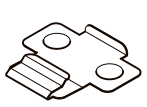
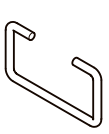
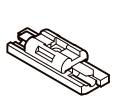
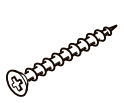
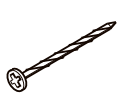
■本体図



■部品・ねじ一覧表（□には部品色記号が入ります）

□-22-HAAW					
㋐	㋑	㋒	㋔	㋓	㋕
					
固定金具／2個	ターンナット／4本	バインド小ねじ M4×20／4本	なべ小ねじ M4×10／2本	ワッシャー／2個	取付け説明書

□-01-HAAP			
㋐	㋑	㋒	㋔
			
取付けベルト／2本	リング／2個	リング台座／2個	取付け説明書

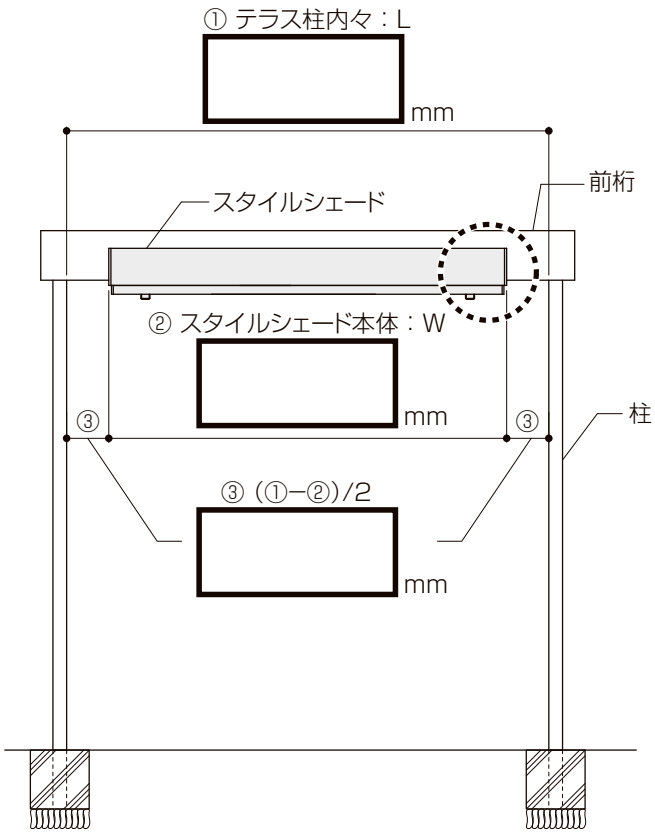
□-02-HAAR（天然木用）／□-03-HAAR（人工木用）／□-04-HAAR（土間コンクリート用）									
㋐	㋑	㋒	㋔	㋓	㋕	㋖	㋗	㋘	㋙
					※天然木用 	※人工木用	※人工木用	※土間コンクリート用 	
デッキフック金具A／2個	デッキフック金具B／2個	デッキフックカバー／2個	リング／2個	リング台座／2個	皿タッピンねじ1種 φ5×50／4本	皿小ねじ M6×35 ／4本	ターンナット（M6）／4個	セルフタップアンカー φ5×45／4本	取付け説明書

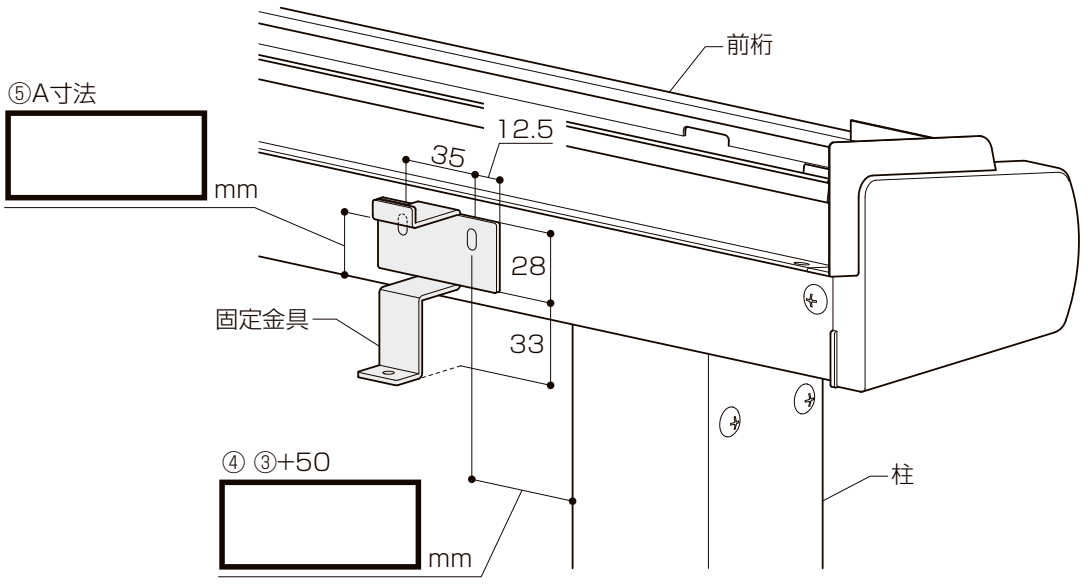
※手すり固定部品セット・デッキ固定部品セットについては各部品セットに同梱されている取付け説明書を参照してください。

■取付け順序

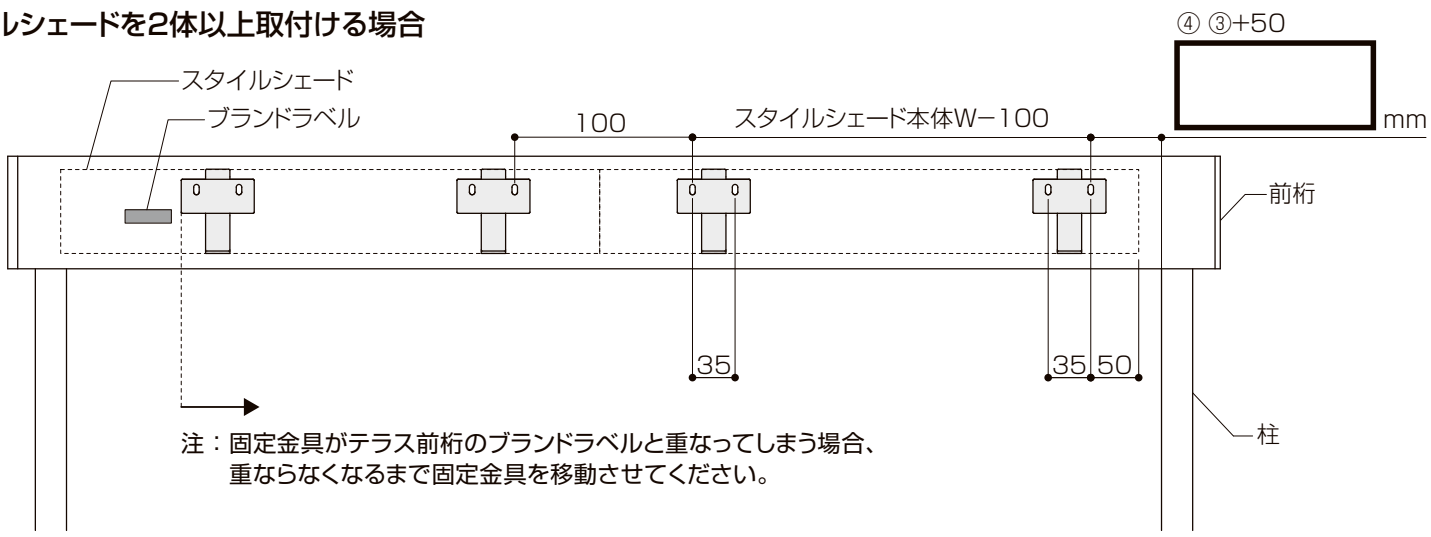
❶固定金具取付け位置の確認

①テラス屋根の柱内々寸法Lを計測します。
②スタイルシェード本体Wを計測します。
③スタイルシェード本体端部から柱内の寸法を確認します。
※生地を室外側へ引き出して使用する場合、寸法20mm以上を確保してください。
④図のようにテラス前桁室内側面に対して、固定金具のW方向の取付け位置を墨出しします。（内観左側も同様です。）
⑤P3「■取付け位置」のA寸法を参照し、固定金具のH方向の取付け位置を墨出しします。
※正しい取付け位置を墨出ししていない場合、固定金具が取りつかないことがあります。



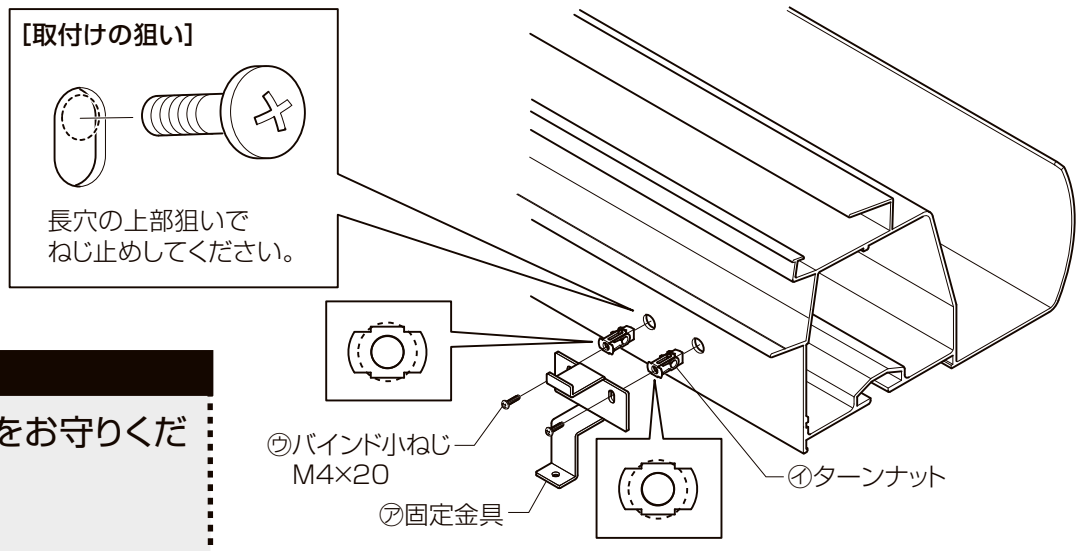


※スタイルシェードを2体以上取付ける場合



❷固定金具の取付け

①墨出し位置に一度φ4.5程度の下穴をあけ、さらにφ8.2の下穴をあけます。
②ターンナットを下穴に差し込み、その上から固定金具を取付け、ねじを締め込みます。
※ターンナットは必ず図の向きで挿入してください。ナットが回転せず、固定できなくなります。
③固定金具を上下、左右にゆらし、ガタツキがないことを確認してください。



⚠注　意

●本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・テラス前桁の下穴は、φ8.2のドリルを使用してください。
・固定金具の取付けねじは、2.5±0.5N·m〔25±5kgf·cm〕のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

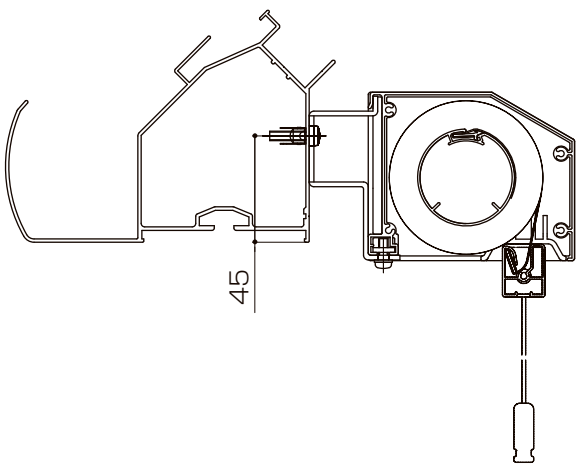
■取付け位置

前枠・自在桁の種類、取付け位置寸法を確認し、スタイルシェードを取付けてください。
図は前枠・補強桁・自在桁の下端からの寸法を示しています。

●標準R型屋根

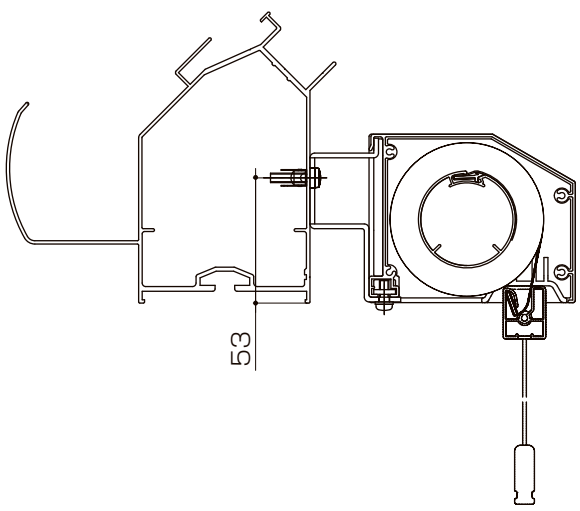
【45mmの場合】

対象前枠
前枠RA

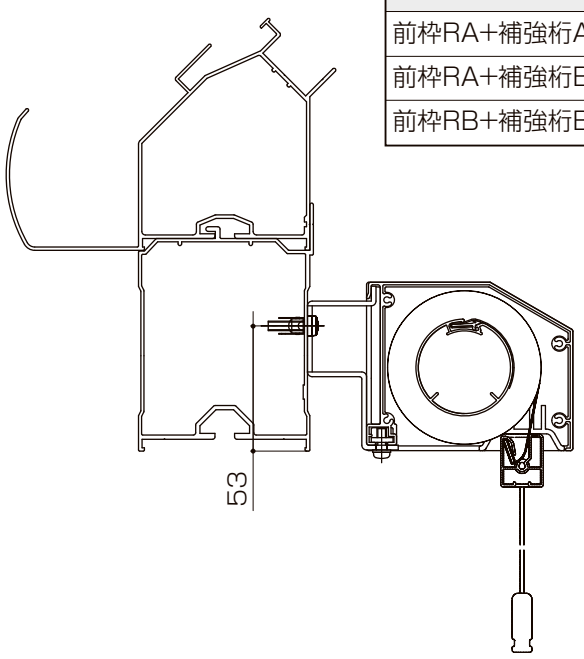


【53mmの場合】

対象前枠
前枠RB
前枠RC



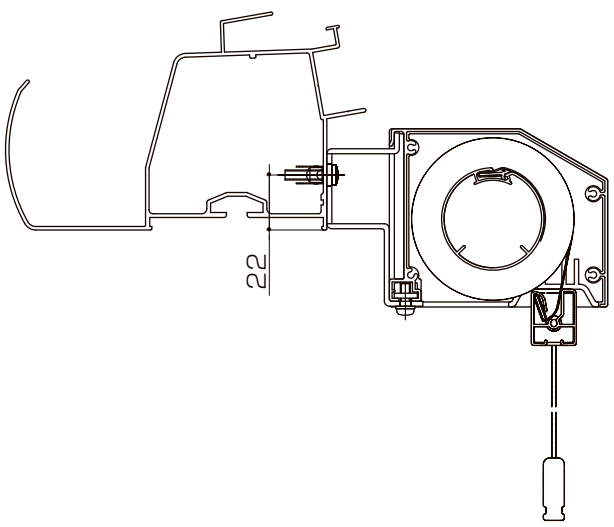
対象前枠+補強桁
前枠RA+補強桁A
前枠RA+補強桁B
前枠RB+補強桁B



●標準F型屋根

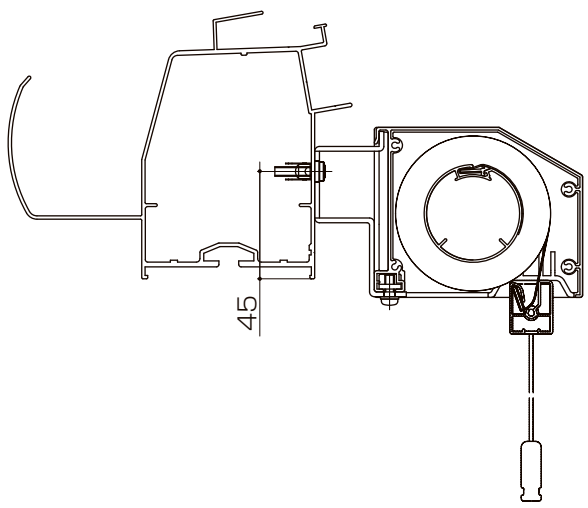
【22mmの場合】

対象前枠
前枠FA



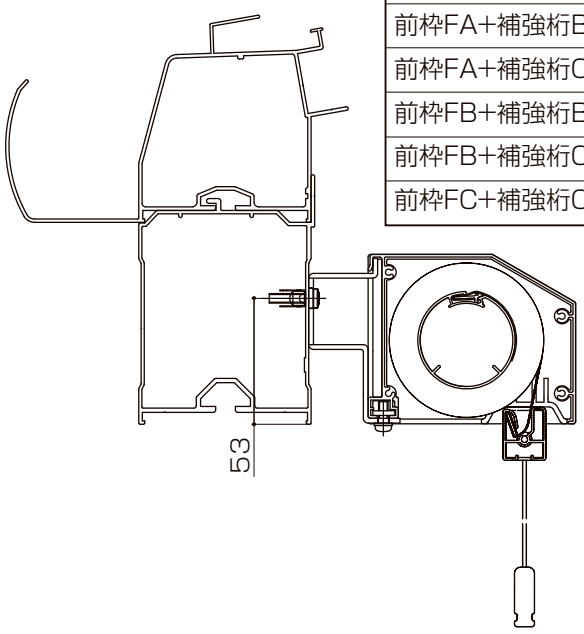
【45mmの場合】

対象前枠
前枠FB
前枠FC



【53mmの場合】

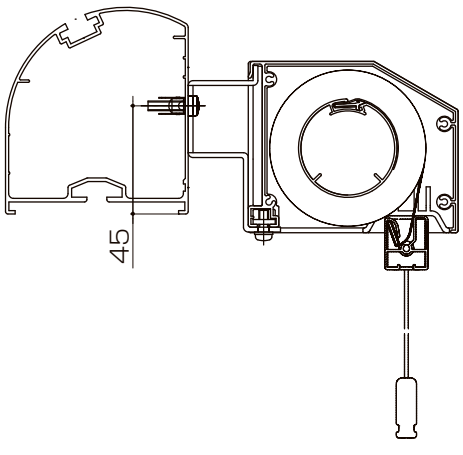
対象前枠+補強桁
前枠FA+補強桁A
前枠FA+補強桁B
前枠FA+補強桁C
前枠FB+補強桁B
前枠FB+補強桁C
前枠FC+補強桁C



●自在桁屋根

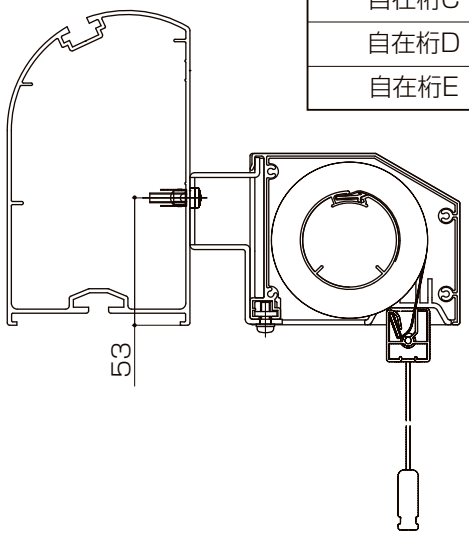
【45mmの場合】

対象自在桁
自在桁A



【53mmの場合】

対象自在桁
自在桁B
自在桁C
自在桁D
自在桁E



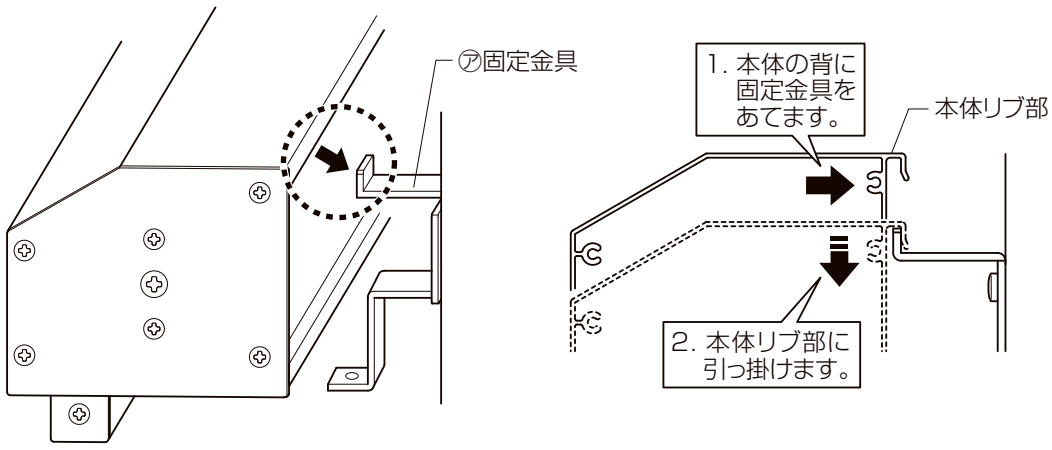
3 本体の取付け

固定金具に本体を下図のように取付けます。

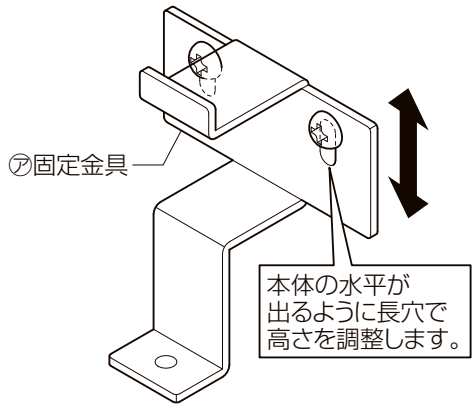
⚠ 注　意

●本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
・本体の取付けねじは、2.5±0.5N·m〔25±5kgf·cm〕のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

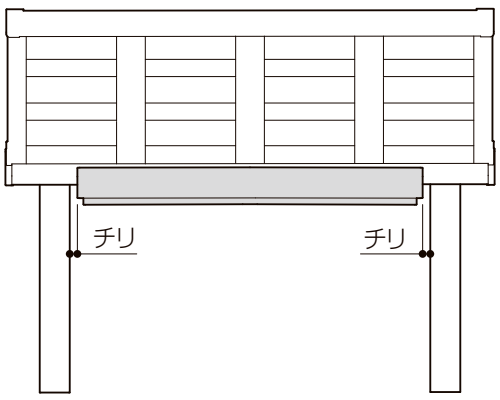
①本体を仮固定します。



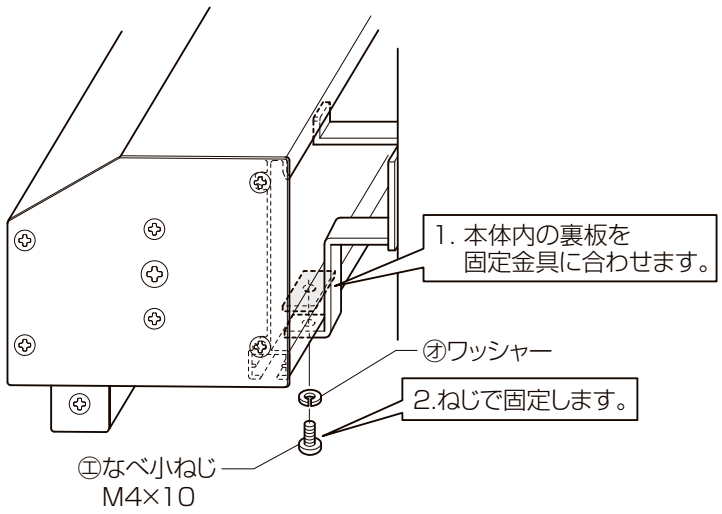
②高さを調整します。



③左右のチリを合わせます。

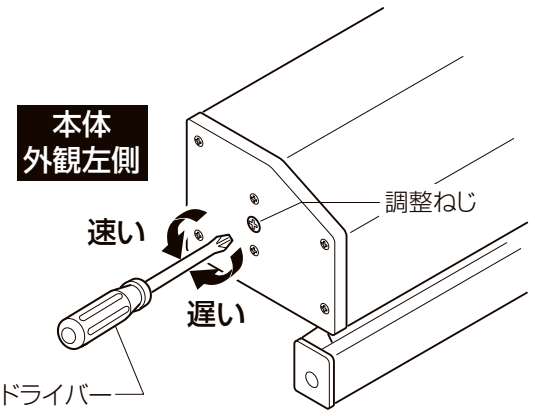


④本体を本固定します。



4 生地巻取りスピードの調整 ※お好みの巻き取りスピードに変更したい場合のみ実施してください。

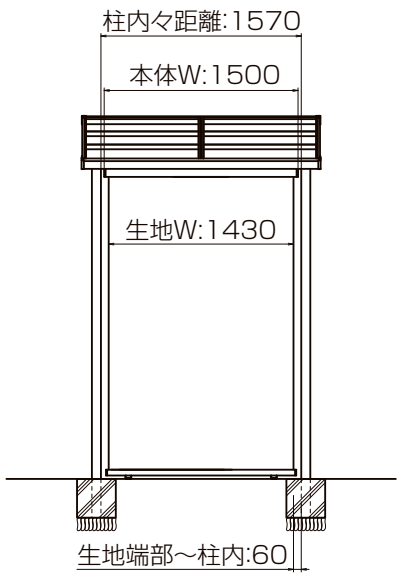
生地を引出し、巻取りスピードの確認をしてください。
お好みの巻き取りスピードに変更したい場合は、「調整ねじ」でスピード調整をしてください。
※本製品は、ダンパーを搭載しており、生地巻き残し30cm程度から減速し、ゆっくり巻き上がる機構になっています。
※巻取りスピードは、気温やサイズなどにより異なります。



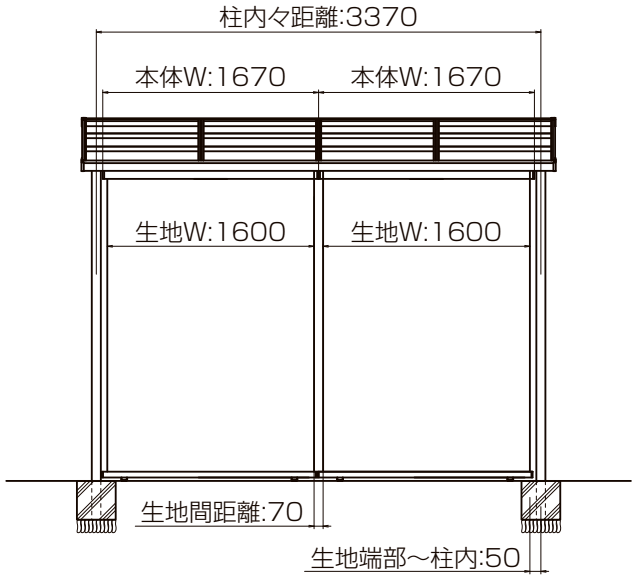
■参考姿図

本図はスピーネの場合を示します。

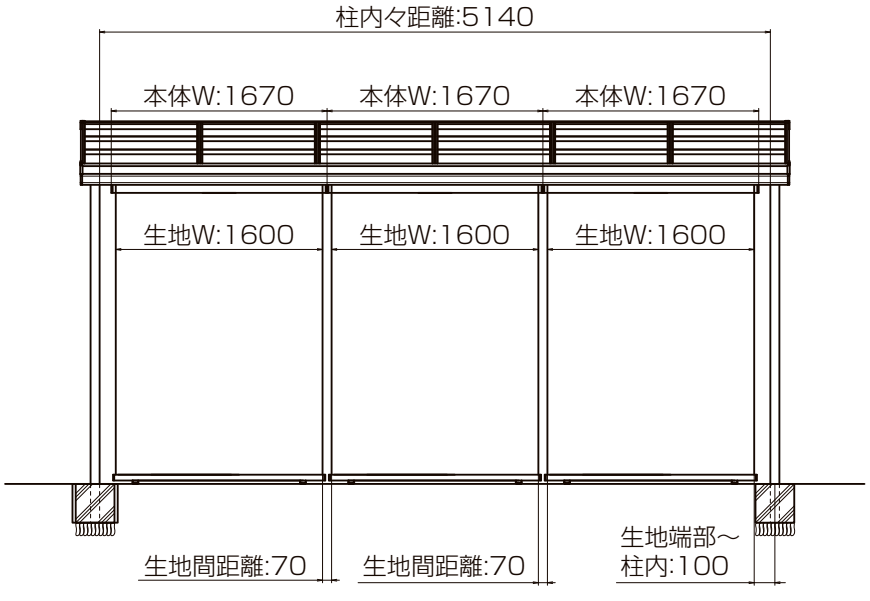
1.0間



2.0間



3.0間通し



株式会社 LIXIL